

6月25日から7月12日まで、千葉市議会は第2回定例会が開催され、正副議長選挙(2年任期)と各種委員の交代(1年任期)がありました。それとともに、再選した熊谷市長の今後4年間の方針を問うために、各会派の代表質問も行われました。

## 可決された議案

**予算関連**: 6億9千万円の補正予算、国民健康保険116億円の繰上げ充用(前借り)

**条例改正**: 病院設置条例、千葉駅西口関連、高田町とおゆみ野の地区計画関連、都市公園関連

**財産の取得**: 若葉区役所市民センター、打瀬中学校の増築校舎、野呂調整池

**和解**: 大気計測器購入に際し、千葉市に損害を与えた業者への訴訟について

**損害賠償について**:

自然教室で亡くなった生徒への損害賠償と和解について



### ★市立病院に診療科が増えます

#### →病院設置条例の改正

青葉、海浜の両市立病院には糖尿病の担当医師がいることと、青葉病院では甲状腺を主とする内分泌内科系の診療実績が多いことから、青葉病院に、糖尿病・代謝内科と内分泌内科が、海浜病院に糖尿病・代謝内科が増設されます。

### ★国民健康保険事業について

特別会計となっている国民健康保険事業は、例年赤字会計となっていたために一般会計から不足分(30~40億円)を繰り入れてきました。ところが、財政状況が厳しくなり、平成21~22の2年間は繰り入れが出来ず、そこで国保事業の収支のアンバランスな状況が明らかになりました。国で進めている社会保障改革も先が見えない中、国保事業の赤字は1億円改善はしたものの、116億9,800万円となっています。保険料の徴収率を上げる、予防事業に力を入れる、ジェネリック薬品に切り替えるなど自治体としてできることには限界があります。国に対しても、制度の抜本的改革や国庫負担の拡大などの働きかけがさらに必要です。

### ★財産の取得とは

公共施設を建てる時には、起債をして市が建てる方法と、都市整備公社に依頼して10年後に利息とともに支払いをする、というのがこれまでの主な方法でしたが、今回、市民センター241,505,339円・打瀬中学校増築分113,752,491円・野呂調整池335,374,134円を買い戻します。総額約6億9千万円です。買い戻しのために、打瀬中学校増築分の9400万円と、野呂調整池分の2億6700万円は、新たに起債をします。したがって、今回の買い戻しの財源は、市債が3億6100万円・一般財源が3億2925万8千円ということになります。こういう手法を、債務負担行為といい、債務負担行為は、隠れた市債と言われる所以です。都市整備公社が代行して財産取得をするという方法は、平成22年以降行われていませんが、今後買い戻さなければならない施設の総額は、およそ250億円です。

### ★蘇我スポーツ公園に多目的グラウンド

#### →都市公園条例の改正

サッカー2面、軟式野球・ソフト2面、ラグビー1面を兼用する第一多目的グラウンドが平成26年4月1日から供用開始となります。そのための料金設定と指定管理者が決まりました。

<アマチュア使用で1時間単位の料金例>

サッカーコート1面につき、  
一般: 900円、高校生: 450円、小中学生: 300円



第一多目的グラウンドが平成26年4月1日から供用開始!

## 未来創造ちばの代表質問から

### ★千葉市の人口予測をどのようにしているか

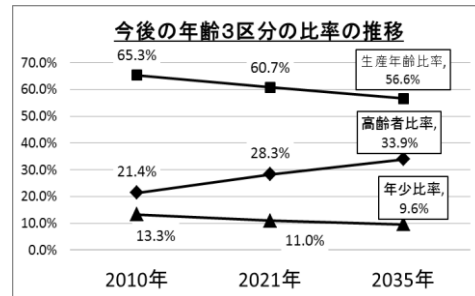
千葉市は、大規模団地の造成や臨海部の埋め立てなどで、昭和40年代を中心に人口が急増。団地居住者の比率が極めて高い。現時点での高齢化率は全国平均を下回っているが、既に人口減少・超高齢化が進んでいる地域が存在する。今後は、国の平均を上回るスピードで一気には高齢化が進み、大規模団地などにおいては団地の老朽化と併せて、地域単位で急激な人口減少、少子・超高齢化が進展すると予測される。

### 施策面で特に配慮すべきこと

労働力や経済活力の低下、高齢者の介護需要の増加、地域コミュニティの維持などが課題。在宅介護・在宅医療の強化、健康づくり支援、保育の量的拡大と質の確保、多様な子育て支援策が必要。

### <福谷 コメント>

グラフに見るように、高齢者が増えて生産年齢人口が減るということは、税収にも大きな影響を及ぼします。都市の規模も、これまでの拡大一辺倒から集約への転換が必要であることは自明です。その目指すべき集約型社会のあり方について、真剣に考える時が来ています。社会保障制度の見直しが急がれることは当然



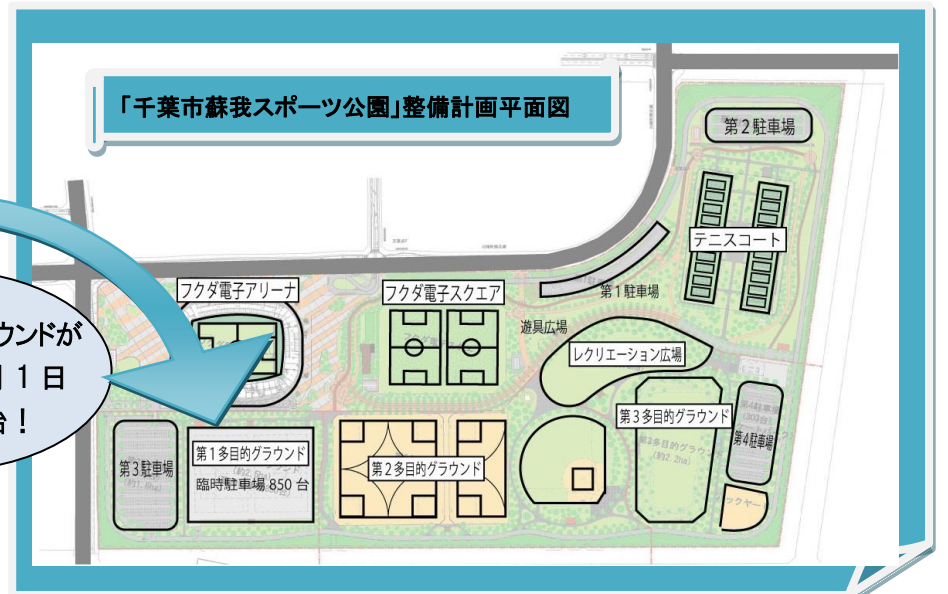
です。一方、子どもたちに対しては、公共の担い手であるという意識を持つよう、社会との関わりを豊かにしていくことが大切だと考えます。

### ★ガバメント2.0とは? どう展開するの?

ガバメント2.0は、アメリカのICT関係者が提唱したICTを活用して様々な情報を行政機関と市民とが共有することにより、公共サービスや政策決定に市民がこれまで以上に参画していくこと。直面する人口減少社会、少子超高齢社会においてきめ細かい公共サービスの展開を可能にする。市民がまちづくりに主体的に参画することで、従来以上に納得感、満足感を得られると考えている。現在、「千葉市民協働レポート」の実証実験を始めた。今後は市が保有する公共データを一般へ公開する「オープンデータの推進」など、行政が保有する情報の市民との共有に向けた取り組みについても進めていきたい。

### <福谷 コメント>

十数年前、議員になるかと決意したのは、「私たち地域に届く行政情報があまりにも少なく、たとえ届いても何重にもフィルターがかけられている」と日々の活動で感じ、そして、税金を払うだけで、政策形成過程に関わる機会があまりにも少ないという、市民がお客様にされている状況を何とかしたかったからです。この10年の間に、予算編成過程の公開、市民参加条例の制定、パブリックコメント制度の導入、審議会への公募委員枠の拡大、広報広聴機能の充実、市民自治制度の拡充などに力を入れてきました。さらに新たな仕組みとガバメント2.0という考え方が加わります。市民がお客さまではなく主役の千葉市政となるよう、力を尽くしていきたいと思えます。



## ◇ 副議長として頑張ります

6月26日は、正副議長選挙がおこなわれ、副議長に就任しました。千葉市の議長の選出は、2009年9月の議長逮捕を乗り越えて、会派の規模に関わらず適任者を議長に選ぶという改革に取り組み、2年前から、推薦人4人以上の署名を添えて所信表明の申し出をし、議場で所信を表明した上で、選挙が行われるようになりました。そこで、以下のような結果となり、副議長になりました（投票総数54票）。

議長選挙：白票4票、宇留間又衛門42票、中村公江8票。  
副議長選挙：白票3票、福谷章子45票、盛田まゆみ6票。

## ◇ 議会運営に力を尽くそう

副議長に手を挙げたのは、2011年3月に都市活性化対策調査特別委員長として提言をまとめ、その後2年間、未来創造ちば幹事長や「議会のあり方検討協議会」の第一部会副会長を経験して、議会が二元代表の一翼として力を発揮するためには、各会派が切磋琢磨をしつつ、必要な時には連携や協調することで、議会としてまとまる必要があるとうことを身にしみて感じたからです。昨年からは、ICT化戦略会議という議員連盟の会長も務めています。

6月18日には、2年間の「議会のあり方検討協議会」の成果を、議場を使って市民のみなさんに説明をしご意見もうかがいました。今後は副議長として、委員会や一会派のことだけでなく千葉市議会を代表する立場として、力を尽くしていきたいと思ひます。



## 【所信表明の概要】

今、千葉市は、これまで築いた基盤の上に、新たな魅力を作り出していこうとしている大切な時期に差し掛かり、議会が果たすべき役割は非常に重要である。

特に、新しい取り組みについては、行政と同じ方向を見つつ車の両輪となって推進力を発揮する一方で、いきすぎや向かう方向に間違いのないよう、チェックが必要である。

また、ソーシャルネットワークにより、市民が情報を自由に取得し、発言の機会もさまざまに得ている昨今、民主主義のあり方もおのずと変わっていくだろう。そこで議会のあり方も問われ、この2年間議会のあり方検討協議会を開催し協議をかさねてきたが、多様な意見をまとめること、異なる意見を傾聴し自らの主張と合わせながら理解していくことが、いかに難しいことかを痛感した。

しかし、その難しいことを、市民を代表して行っていく場が議会であり、だからこそ議会の存在は貴重であると考えます。議会のあり方検討協議会においては、千葉市議会の伝統である少数意見を尊重しながら熟議を重ね、多くの芽が出始めた。この成果を引き継ぐことが第一の使命である。そしてさらに、市民と議会とのコミュニケーションの取り方、政策条例の策定への取り組み、ICT化の議論も進めていきたい。

私たち議員が活動を十分にを行い、議会がその権能を発揮するためには、千葉市議会として市民から確固たる信頼を得ることと議会運営の盤石な基盤が必要である。総合力を発揮する議会となるよう、議長を強力にサポートしながら議会改革を進めていきたい。

## ■子ども医療費の年齢拡大

現在、千葉市の子どもたちは、通院は小3まで、入院は中3まで窓口負担の300円のみで医療を受けられます。今後は、できるだけ早い時期に、通院を小6まで拡大すること、マニフェストではしています。一方で中3まで広げてほしいという声もあります。千葉市は所得制限を設けていませんが、今後さらに広げるとなると、財源が限られていることから、小6か中3かという1項目の議論ではなく、所得制限の有無、窓口負担額、他の子育て支援策とのバランスなど、多角的な議論をする必要があります。

## ■市民シンクタンク

市民がまちの課題解決に参画する仕組みの一つであり、テーマごとに専門的な識見を有する主体が、議論を交わし、実証実験などを踏まえ、市に提言したり事業実践に関わったりする新しい仕組み。提案して実現したことを、検証・評価まで出来ると、なお良いと思ひます。



注目！これから始まる施策（市長マニフェスト）

## ■自転車のまちづくり

自転車は、従来の移動手段を中心とした役割から、環境意識や健康志向の高まり、余暇、レジャー活動の活発化などを背景に、ニーズが多様化しています。豊かな緑や水辺環境を活かし、安全快適な自転車走行環境、集客観光、マナー向上など一体的に取り組むとしています。そのためには、誤解が多い自転車のルールに関して、正しく楽しく知る機会も大切です。

これら以外にも、今後展開される施策や千葉市が進むべき方向性など、話し合うことはたくさんあります。

そこで、「熊谷市長を招いて対話会」を計画しました。

議会について、市政について、地域について語りましょう！

日時 8月10日（土）10:00～11:30

場所 鎌取コミュニティセンター2階会議室

（参加申し込み＆問合せ）

福谷章子事務所（TEL043-312-2903）

月、火、木、金 10:00～14:00



## 活動記録

### ☆教育委員会会議を傍聴しました(7月17日)

学校教育推進計画の進捗状況について検討。目標値を達成しているのは理科教育と読書活動で、算数と英語はいまひとつ、と言う特徴が現われていました。また、気になったのは、中学生の不登校は減少している一方で、小学生は増えていること。これらの原因については、データできちんと分析する必要があります。

### ☆オープンデータ関連の勉強会に集中参加

位置情報システムの活用や今後の公共情報のオープン化が進みます。そのための勉強会に6月から8月にかけて、集中的に参加しています。



### ☆今年も盛況！こどものまち

土気駅前のパーズモールで、昨年からはまったこどものまち「スマイルグリーンシティ」が、今年も開催されました。二日間で1,000人近くの子どもたちが参加し、受付は長蛇の列という盛況ぶりです。いきいきと自ら動きまわる子どもたちの姿は頼もしい。こういった活動が、地域や大人の理解を得ながら広がっていくといいですね。きぼーの【こどものまち CBT は、8月23日(金)～25日(日)】の開催です。



### ☆プレイファーム

地道に食育プレイファーム

遊休農地で、親子で農作業に取り組んでいます。たくましくなっていくのは子どもばかりではありません。親としても生きる力がメキメキです。

みなさんのご意見やご提案！  
お待ちしております。



### ■公式ホームページ

<http://fukutani-office.com>

### ■フログ QRコード読み取り！→

<http://fukutani.blog.ocn.ne.jp>

### ■ツイッター

<http://twitter.com/shoukosan>

### ■フェイスブック

<https://www.facebook.com/shouko.fukutani>



### 福谷章子事務所

月、火、木、金 10時～14時（祝祭日、お盆、年末年始は休業。都合により臨時休業の場合もございます、ご了承下さいませ）

〒266-0031

千葉市緑区おゆみ野3丁目40-8

河野ビル213号

tel&fax 043-312-2903

事務所の場所は地図の☆印、河野ビルの2Fです。外階段で二階にお上がり下さい。

e-mail [fukutani2903@gmail.com](mailto:fukutani2903@gmail.com)

ご意見ご要望は

こちらのメールでも受け付け中です！

